

取組のポイント

- ◆ 地元食材を使用した「町の特産品」と呼べる商品を開発するため「静農ブランド開発促進プロジェクト」に着手
- ◆ 農業高校・団体・町内事業者の連携による商品開発を実施
- ◆ 開発商品は新たな地域食品ブランド「静農ブランド」として、町内での販売のほか、ふるさと納税返礼品に登録
- ◆ 都市部でのPR活動を実施

地区の概要

- ◆ 位置
北海道新ひだか町
（旧静内町・旧三石町）



- ◆ 活用した地域資源
昆布、乳製品、ほか
- ◆ 事業実施主体
新ひだか町

- ◆ 主な取組団体等
北海道静内農業高等学校
- ◆ 事業実施期間
R4～R6

取組の特色

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆ 「静農ブランド開発促進プロジェクト」と題し、プロジェクト会議において関係者間で方向性を共有
- ◆ 農業高校の学習カリキュラムと連携し、高校生が企画・試作したものを地元事業者がブラッシュアップ、15品の新商品を開発



【プロジェクト促進会議】



【開発商品】

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆ 札幌市内・大阪府でBtoCの販売会に参加
- ◆ 大規模商談会（東京ギフトショー）へ出展
- ◆ 新ひだか町ふるさと納税返礼品に登録



【町広報 R7年3月】



【販売会】

取組の成果

- ◆ 昆布などの地元食材を活用した新商品の開発 15品（ハンバーグ、たれ、せんべい、ジャム 他）
- ◆ 静農ブランド商品の販売額 1,321千円（R6実績）
- ◆ 参画事業者（共同開発事業者）11者